

団体名 Go West project ゴー ウェスト プロジェクト

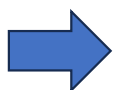
部門 スタート部門

- テーマ
- ・誰もが文化芸術に親しむことが出来る環境の充実
 - ・歴史と伝統に培われた文化の継承・発展
 - ・世界の人々が憧れ滞在したくなる都市ブランド力の向上

寺町ルネッサンス～いま、まちの力が目を覚ます

(犀川西側、特に寺町寺院群、西茶屋街の魅力発信を図る)

説明者: 佐伯敏明 (GoWest世話役、寺町台まちづくり協議会理事、ギャラリー&茶屋経営)



令和7年度協働のまちづくりチャレンジ事業 審査会資料

1. 団体について

・団体名 Go West project

・メンバー(32名、寺町野町のお寺、町会、野町商店、西茶屋街商店有志、学生、年齢80代から20代次ページ参照)

・設立目的:あるギャラリーの終業後、有志が集まった小さなキックオフミーティングで、地域住民や観光業に携わる方々が語り合い、まずは身近なつながりから動き出そうと合意。「日常の中でお互いを紹介し合う」など、気負わず楽しく地域に関わるスタイルを大切にしながら、ゆるやかに活動をスタート。

・団体の活動概要、PR、今回応募した理由 等

閑散した通り



・多職種の方が集まり、9回に渡り定例会議を実施、新店舗紹介、各寺、事業者のお店紹介、理解し合うことから。始めた

・西茶屋街のPRの拡張現実(XR)の検討、地域に資源を生かした活動を目指す

・みんなが助け合って榮えるようにしたい思いで金沢市の協同のまちづくりを知り応募。

2. 現状の課題・背景

・団体が考える現状の地域課題・背景

金沢市の西側、寺町台は、加賀藩の時代から多くの寺院が集まる歴史的・文化的価値の高い地域です。かつては地域の人々が行き交い、寺院が“まちの相談所”として機能し、まさに「人の声が集う場所」でした。寺子屋、児童の遊び場所。しかし今、そこには静寂が広がっています。

現在、蛤坂に住む子どもはわずか2~3人。(120人の子供たちがいました)
通学路や町なかに子どもの声が響くことはほとんどなくなりました。

日中通りを歩くのは外国人観光客が中心で、地域の日常の息遣いは感じにくくなっています。観光地でありながら、飲食店の数も極めて少なく、地域内での消費や人の流れが十分に循環していない状況 高齢化で閉店(若い方へ時間貸しの検討、活性化)



寺子屋の机が懐かしい

鶴来街道沿いの空き7店舗



2. 現状の課題・背景

・解決するために考えたこと

金沢が誇るべき歴史的資産が「記憶のなかのまち」になりかねません。だからこそ今、地域に住む人、訪れる人、関わる人が一体となって、再び人の声と文化が響きあう「にぎわい」を取り戻す必要があります。

寺町ルネサンスの原動力は、この地がかつて加賀一向一揆を経て、自治の精神を育んだ歴史にあります。強い指導者がいなくとも、民が力を合わせ、地域を支えてきたこの北陸の地。

我々にできるアクションはイベント企画 仏教のまちならではの体験「花まつり」「護摩焚き」

金沢観光案内所で発信頂くだけでも違います。

日本の仏教は海外の仏教とも異なり、独自の発展を見せているため十分な観光資源です。活用頂けることを願っております。妙立寺だけでなく、寺をもっと紹介したい

工芸のまちを紹介(金工作家の居る町、竹筆作家)、食品(みそ、酢蔵、麴文化、落雁)の紹介
散策後の食事処の紹介 マップ制作で観光客に配布へ

海外旅行者の声 何か体験をしたい。

思いを書く、書道色紙体験、折り紙体験、剣道体験を実施していく。



竹筆作家の作品

2. 取組へ

団体名 Go West project スタート部門

海外旅行者の声 何か体験をしたい。思いを書く、書道色紙体験、折り紙体験、剣道体験、加賀友禅体験を実施。

我々にできるアクションは400年の歴史あるお寺をもっと紹介、工芸品紹介、イベント企画実施

観光事業者が効率、利
潤から取り組まない事
業、小さな御持て成し



寺内部見学案内

地域マップ
つくり



剣道体験



折り紙体験



書道体験

イベント議論・実施分担



胡弓演奏



木組み細工

3. 企画の概要

団体名 Go West project

スタート部門

・企画・コンセプト: お寺文化紹介、寺での日本楽器コンサート、日本文化体験(書道、剣道、折り紙)、金沢ならではの竹筆紹介

・実施・スケジュール

事業内容・準備	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
眞長寺さん護摩焚き				○							住職
本長寺他花まつり										企画準備	住職
お寺でコンサート		←————→			○						和楽器奏者
加賀友禅の絵付け体験	企画	広報	体験実施	体験実施							友禅絵付師
書道体験随時	←————→										書家
剣道体験	←————→										市内武術家
木組み体験		○	○								市内木工作家

・事業効果 観光の方、金沢市内の散策の方々の滞在滞在時間の増加

4. 今後の展望について

・今回の事業は団体にとってどのような位置づけなのか

地域を横断する「スタンプラリー」や「寺社めぐり企画」、子どもや観光客も楽しめる「文化体験」「職人の手仕事紹介」、そして宗派を超えた寺院との連携による「仏教文化発信」など、多彩な取り組みを検討しています。寺町台まちづくり協議会(私は役員でもあり)や他の寺社事業と連携し、集客力を増していきたい。連携して情報発信

・今回の事業を通して、どのように活動の幅を広げていきたいのか

- ・地域の魅力を発信するSNSやインスタグラム、メディア活用にも力を入れて発信
- ・外から訪れる人と地域の生業との橋渡しとなる役割を担う。2025年春の「寺町ならでは、花まつり」「護摩焚き体験」開催はその第一歩であり、寺、工芸品を紹介。楽しさと温かさ優しさで接する案内所
高齢者の参加、集える催し、声掛けを行う。

花まつり:
内外50名参加



護摩焚き
木魚体験



団体名 Go West project スタート部門

ご清聴ありがとうございました



令和7年度協働のまちづくりチャレンジ事業 審査会資料